

HOME

ひろせ事務所通信 [ほおむ]

2023


 新年の
ご挨拶

 代表／司法書士
廣瀬 修一

昨年は長年の課題であったホームページのリニューアルができました。

リニューアルを機に自分たちのパーパス(Purpose)を策定したので発表します(大げさ)

「パーパスってなんぞや?ざっくりいうと「自分たちが何のために存在するのか」という存在意義みたいなものです。これがいざ言葉で表現しようとするとなかなか難しい。創業の経緯やこれまでであったこと、目指す姿、お客様のこと、そして自分たちのこと。全員で話し合いました。

そうして決まったパーパスが「私たちは、共に、前へ」

【パーパスに込めた想い】

お客様に対して
相続も終活も、一歩踏み出すのが難しい。大切な人が亡くなって悲しみのなか相続手続きを始める人、自分の終末期や死後のことを考えて行動する人。そんな人が今よりひとつ前に進むためのサポートをする存在であること。
自分たちに向けて
私たちも成長し続ける、前に進むことを意識する。

パーパスは作るものではなく見つけるもの。だそうです。確かに「共に、前へ」という想いは、これまでも自分たちの中であつたように思います。でも言葉にする、文字にすることではっきりと意識でき、行動に移せるようになった気がします。

本年も共に、前へ。

ホームページリニューアルのお知らせ



この度、ひろせ司法書士事務所のホームページをリニューアルいたしました。夏頃から制作会社の方と何度も打ち合わせを行い、皆様に分かりやすく伝わりやすいホームページを完成させることが出来たと思います。



まず、作成にいたる前に、当事務所のSWOT分析(強みや弱み等を洗い出し、現状を分析する方法)から行いました。現状を把握することで、HPで強調したい部分や、これから改善が必要な部分を知ることができました。また、社歴の浅い私にとっては事務所の歴史を知るいい機会になりました。

HPを作成するうえで一番悩んだのは、トップ画面の色味やロゴ、レイアウトについてでした。ここで事務所の第一印象が決まってしまうからです。皆さまに伝えたいことが多すぎる…しかし見やすくかつ事務所の雰囲気を一瞬でお届けしなければなりません。そこはプロの人達の力を借りて、事務所の特徴が伝わるように工夫しました。

だいたいの大枠が決まったら次は写真撮影です。今日だけはメイクもばっちりにして撮影に挑みました。瀬戸内海をバックにスタッフ一同が映っております。



新しいホームページは下記URLまたはQRコードからアクセスできます。ぜひご覧ください(古市)

<http://www.officehirose.com/>



スタッフからのひとこと

～今年も一歩前へ～



真弓

犬を飼い始めて約1年、朝の散歩は私の担当です。毎朝いつも5時頃に出発します。

この時期になると寒いし眠いし、家から出るのは面倒くさ～いという気持ちと戦いながら玄関を開けるのですが、ちょっぴり楽しみもあります。まだ真っ暗な景色ですが、空を見上げると星が綺麗に見えるんです。満天の星空だった日は、なんだかハッピーになれる。静かな街中を犬と星空の下散歩できるのは、私のリフレッシュにもなっています。



大西

昨年の6月から友達と週末にウォーキングを始めました。

始めは1万歩を目指していましたが、今では1万2000歩を超えないと納得できず暗黙の了解で歩き続けています。時にはおしゃべりに夢中になり気づけば1万6000歩を歩いていたことも。今年も引き続き週末のウォーキングと、何か新しい趣味をみつけて自分の時間を楽しめたらいいなあと思います。



気づけば体重が0kgも増えていました。お気に入りのズボンたちがきつい… そんなに食べていないつもりでも、よくよく考えると結構カロリーを摂取しているようです。

そこで少し前から徒歩で通勤するようにしています。自宅の付近でも知らなかった道やお店、日没後すぐのお月さまを見ながらだと楽しく歩けます。

インドアな性格ですが、今年はアウトドア派になって外で動きまわったら嬉しいな。



橋本

年末に大掃除をしました。災害用に備蓄していた水のペットボトルが1年も期限が過ぎていました。保管しているので安心と思っていてもこまめにチェックしなければいけないですね。

備蓄用の水も500mlは飲料用、2Lは生活に使う用で2種類買ってきました。2箱はやはり重かったです。これからはローリングストック（事務所通信3号参照）を使いながら、何かあった時に備えられるようところがけていきたいです。



古市

昨年の司法書士試験に合格し、10月から入所しました。新しく覚えることの多さに悪戦苦闘する日々ですが、先生や先輩方に教えていただきながら、何とか頑張っています。

1月といえば大相撲、初場所ですね。この記事を書いているのは11月、九州場所の真最中ですが、毎日手に汗握りながら、画面にかじりついています。今年こそは生で大相撲を観戦したいです。



豊島

